

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

いかなる時代環境においても利益の出せる仕組み 大山 健太郎 (アイリスオーヤマ社長)

- 2011 年度、大震災にもかかわらず、アイリスオーヤマの単体売上は初めて 1000 億円を突破した。グループ売上 2350 億円。不思議な会社である。収納ケースや園芸用品など、実に 1 万 4000 アイテムの製品を生産し、「選択と集中」の対極を行きながら、10% 近くの営業利益をキープしている。1980 年代に園芸ブーム、ペットブームを主導し、今 LED 照明で世界トップクラス。財務的には実質無借金である。
- 19 歳で社長になり、27 歳の時、東大阪の工場が手狭になり、仙台に新工場を建設した。家業を継いだとき、500 万円だった年商が 10 億円に届くまでになった。そこで 1973 年のオイルショックにぶち当たる。社員 150 人のうち半数に辞めてもらった。ほとんどが自分より年長であり、社員というより、身内同然だった。心底こたえた。どんなことがあっても、二度とリストラをしてはいけない。アイリスオーヤマの経営理念の 1 番目は「企業の目的は永遠に存続すること。いかなる時代環境においても利益の出る仕組みを確立すること」。その思いはこのとき固まった。
- 「開発はあくまで生活者目線。今日の満足は明日の不満」が大山の口癖である。以来、毎年 1000 アイテムの新製品を開発し、売上に占める新製品比率は 50% 以上。生活者の不満、不便を追って、どんどんフロンティアは拡大する。その結果が 1 万 4000 のアイテム数だ。広がり、変化することが「いかなる時代環境においても利益の出せる仕組み」なのである。
(参考:「週刊東洋経済」2012 年 9 月 15 日号)

経営者のための理念・哲学

心で動くチームづくり

山中 伸弥 (京都大学 iPS 細胞研究所所長)

- やっぱりメンバーが本当に、「心」で動いてくれないとダメですね。決して給料が高いわけでもなし、ミッションは難しく、時間もかかる。だから、心意気で動いてくれる人をどれだけ集められるかは本当に大切だなと感じます。一年、二年は心意気で持つんですが、それが五年、十年となったら心意気を持続するのが非常に難しい。
- これは何事もそうだと思います。スポーツ選手の場合、選手本人はいいですよ。自分は金メダルを取るんだという目標があるからモチベーションは維持できる。でも一人じゃ絶対にダメです。それを支える人がたくさんいて、その人たちのモチベーションが続くかどうかが大変なところで、それをつなげるものは「心」しかない。自分のことは差し置いても「こいつにメダルを取らすんだ」という支える人たちの思いが不可欠です。しかしそういうプロセスを踏んでいけるのは、実は一握りの人じゃないかと思いません。
(参考:「致知」:2012 年 11 月号)

海外事情

中東観光客の急増 (マレーシア)

- 欧米と中東の間で宗教的なあつれきが続く中、多民族のイスラム国家マレーシアが中東の観光客の訪問先として地位を確実に上げている。例えば、サウジアラビアからの旅行客は、米同時多発テロが起こる前の 2000 年に約 2 万 5000 人だったのが、2012 年には上半期だけで約 5 万 5000 人に急増している。
- 中東の観光客が落とす金は旅行 1 回当たり平均約 20 万円で、他地域からの観光客の 3 倍。中東の観光客と言えばオイルマネーを元買い物に走る印象があるが、エコツーリズムの割合が買い物の割合を上回ったとの調査結果もある。マレーシア政府は国内の豊富な自然も好材料とみている。
(参考:「WEDGE」2012 年 11 月号)

古典に学ぶ

弱者の自立を促すような救済策が必要だ

「弱者を救うは必然のことであるが、更に政治上より論じて、(中略) 成るべく直接保護を避けて、防貧の方法を講じたい」

(解説) 社会的に弱い人は、当然助けるべきだが、政治的に考えても、できれば直接守ってあげるより、貧しさをなくすやり方を考えるほうがよい。
(参考: 渋澤健「渋澤栄一 100 の訓言」: 日経ビジネス人文庫)